

サテイクワ サテイク



صديق و صديقة



江戸川区立第二葛西小学校

JICA 青年海外協力隊

ヨルダンだより No.10

令和5年 5月31日



ヨルダンの「生活の足」って…?

マルハバン！（こんにちは！） みなさん、お元気ですか？

先日、5月21日は運動会だったそうですね！今年はどのような運動会になりましたか。一人ひとりが目標をもち、学級や学年、同じ色の仲間たちとたくさんの学びがあり、皆さんの日頃の頑張りが発揮されたのではないのでしょうか。そして、運動会に向けた練習や仲間との関わりを通して、また一回り心も身体も成長したことでしょう。本当に頑張りましたね！

さて、今回は「生活の足」（生活に必要な乗り物等）についてです。みなさんは、いつもどのように学校へ行ったりどんな乗り物でお出掛けしたりしていますか？

私が二葛西小で働いていた時は、



家から自転車に乗り、電車①、電車②、電車③、そして歩いて学校へ行っていました。

そして、学校から江戸川区内の学校などへ出張に行く時には、葛西駅前のバス停で列に並び、バスの発車時刻まで待ってバスに乗ることが多くありました。



こちらヨルダンでは…、
少し歩いてバスに乗り（約20分）、
バスを降りてまた少し歩いて学校へ行っています。



日本ではごく当たり前のように電車が走っていますが、実はヨルダンには、人々の生活の足としての電車は通っていません。基本的に車で移動します。

そして、自転車に乗っている人もほぼ見掛けません。（ごくまれに乗っている方を見かけますが、一週間に数回ほどです。）



ヨルダンのくらしクイズ！



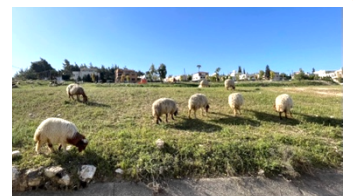
この道路は、私がいつもバスに乗っている通りです。さて、

Q1 どこでバスに乗り、どこで降りることができるでしょうか。

Q2 バスは何時に来るでしょうか。



ちなみに…この日、この道の脇にはヒツジが歩いていて、道端の原っぱで草を食べていました。（ヨルダンの首都アンマン市内でもこうした光景が見られます。）



正解は…,

- ① どこからでも乗れ、どこでも降りられます。この白いバスには、日本にあるような「バス停」がありません。乗る時には、運転手さんに分かるように手を挙げるなど、合図を送ると停まってくれます。降りる時には、目印になる地域や場所を伝えて降ります。私は、「信号で降ります!」と伝えています。(乗っている20分間、信号が2つしかないのです。)
- ② ヨルダン国内にはこの白いバスはたくさん走っていますが、時刻表がなく、いつバスに出会えるか分かりません。そのため、待ってから5分で来ることもあれば、30分、場所によっては1時間以上待つこともあります。



日本にあるような降車ボタンはありません。そのため、混雑した車内では、大きな声で伝えるか、コインで窓を打って「カンカン!」と鳴らして合図することもあります。

ヨルダンの生活の足!



【アンマンバス】

バス停があり、専用カードに現金をチャージして乗ります。



【スクールバス】(イエローバス)

オレンジ色のバスは、全部スクールバスです。家が遠い子どもたちはバスで学校に通っています。



【タクシー】

黄色をはじめ、色々な色のタクシーが走っています。アプリで呼べるタクシーもあります。



【セルビス】

乗り合いタクシーです。横に行き先が書かれていて、同じ方面へ行く人たちと乗り合います。



【遺跡や砂漠での動物たち】

ペトラ遺跡やワディ・ラム砂漠などの近くに住む部族の方々は、馬、ロバ、ラクダに乗って移動しています。子どもたちも上手に乗っています。



先日、ワディ・ラム砂漠で行われた、「ワディ・ラム・フルムーンマラソン」に出場しました。(月明かりの元、夜の砂漠を走るマラソンです。)

その日の昼間に砂漠を歩いていると、なんと電車のないヨルダンで「線路」を発見しました!すると…次の日に汽笛の音が…!

昔は貨物車として走っていたようですが、現在は観光客向けに時より走らせているそうです。

電車のないヨルダンで、砂漠の上を走っていく汽車に周囲の人たちも嬉しそうにしていました。



このように、所変われば「生活の足」も変わり、それにより生活の仕方も変わるのでね!